

学年	高校3年	教科	英語	科目	英語 コミュニケーションⅢ	単位数	6
教科書名	LANDMARK English Communication Ⅲ (啓林館)			副教材名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文速読ドリル 10minutes Level 2 (Z会出版)</li> <li>・速読英単語 必修編 (Z会出版)</li> </ul>		
コース・クラス	N進文系						

## I. 目標

1. 基礎学力到達度テストで実際に出題された長文問題のレベルや傾向を把握し、読み解けるようになる。
2. 基礎学力到達度テストにおいて、長文問題の正答率70%、共通テストにおいては正答率60%を目指す。
3. 卒業時までには実用英語検定2級以上及びCEFR B1～B2レベルの英語力の習得を目指す。
4. 実践的な出題形式と難易度の問題に取り組み、基礎学力到達度テストにおいてリスニング問題の正答率80%を、共通テストにおいては正答率70%を目指す。

## II. 授業のねらい

### 1) 聞くこと・読むこと

- ① 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文などから必要な情報を聞き取り、話や文章の展開や概要、要点や話し手・書き手の意図を把握することができる。
- ② 未習の単語や表現が含まれていても、前後の文脈から内容を把握できる。
- ③ 時間内に多量の文章を読む試験形式に対応するため、文単位・段落単位で情報を処理する力をつける。
- ④ 聞いた内容を整理し、必要な情報を即座に理解する力をつける。
- ⑤ 日常的に英語を英語で理解する力をつける。

### 2) 話すこと

- ① 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文など事前の準備することで、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して論理的に伝えることができる。
- ② 教科書の文章表現を自分の言葉にして英語で説明ができる。

### 3) 書くこと

教科書に出た重要構文の文法表現を用いた表現を活用し、論理的な文章を書けるようにする。

## III. 授業の進め方

- 1) 単語学習の指導方法として『速読英単語必修編』を用いて、英文を読むことを通じて語彙力の定着を図る。毎週SHRにおいて英単語テストを実施し、短文の読解問題も出題することで、語彙力と速読力を実践的に確実に身に付ける。単語や熟語を文脈の中で覚え、音声付き教材を活用し、シャドーイングやオーバーラッピングで文全体を口に出す練習をする。
- 2) 論理的な文章の流れを理解し、結論や要点を把握する能力を身に付ける授業を展開する。
- 3) 新聞記事や短い英語のブログを活用し、1分で読む段落数を増やす練習を行う。
- 4) 『英文速読ドリル 10minutes』を使用し、週に2回程度実戦形式の問題に取り組む。基礎学力到達度テストだけでなく他大学入学試験を見据えた演習形式の問題に取り組む。

#### IV. 学習上の留意点

教科書や副教材で学んだことを基礎として、基礎学力到達度テストで問われる問題に取り組む時間を設ける。

#### V. 定期試験

- 基礎学力到達度テストと同じ形式の問題を数題出題する。
- 授業で扱った箇所は、全体の7割程度出題する。
- 初見実力問題と他大学で出題された入試問題と同じ問題形式で全体の3割程度出題する。
- 以下の予定で、教科書、副教材の指定範囲から出題する。

1 学期中間試験： LANDMARK Lesson 1～2

1 学期期末試験： LANDMARK Lesson 3～4

2 学期期末試験： LANDMARK Lesson 5～7

※授業の進度により定期試験の試験範囲を変更する場合がある。

#### VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	① LANDMARK Lesson 1 『Incredible Edible』 ・基礎学力到達度テスト過去 問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英単語テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・中間試験</li> <li>・期末試験</li> <li>・長文読解課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力到達度テスト及び大学共通テストレベルの英単語を習得する。</li> <li>・基礎学力到達度テストに向けた実践的な演習と知識習得する。</li> <li>・言い換え語句などを有効に利用し、英文を読める力をつける。</li> <li>・毎単元の音読を重視し、基礎学力到達度テストをはじめ他の外部試験にも対応できるようにする。</li> <li>・上記に加え、ディスコースマーカーやパラグラフの構成をつかめるようになること。</li> <li>・英文を読み解く上で正しく因果関係をみつけることや、複数の事柄がどのような意図を持って対比されているかなど読み取ることができる。</li> <li>・それぞれのパラグラフで述べられている主張やその根拠を読み取ることができる。</li> <li>・短い時間である程度の長さの英語の文章を読み、筆者の言いたいことを理解し、問題を解く上で必要な情報を見つけることができる。</li> <li>・基礎学力到達度テストに向けた実践的な演習と知識習得。</li> </ul>
	5	② LANDMARK Lesson 2 『Blood is Blood』		
	6	③ LANDMARK Lesson 3 『Saving Our Treasures from the Sea』		
	7	④ LANDMARK Lesson 4 『Men' s Brains vs. Woman' s Brains』  ※適宜、基礎学力到達度テストの過去問や入試問題にも取り組む。  ◎1週間の授業の内容は、読解4コマ、リスニング1コマ、基礎学対策演習1コマなどとし、バランスよく指導する。		

一 学 期	9	⑤ 基礎学力到達度テスト 対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力到達度テスト及び大学共通テストレベルの英単語を習得する。</li> <li>・基礎学力到達度テストに向けた実践的な演習と知識習得する。</li> <li>・言い換え語句などを有効に利用し、英文を読める力をつける。</li> </ul>
	10	⑥ LANDMARK Lesson5 『Political Correctness』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英単語テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・期末試験</li> <li>・長文読解課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎単元の音読を重視し、基礎学力到達度テストをはじめ他の外部試験にも対応できるようにする。</li> <li>・上記に加え、ディスコースマーカーやパラグラフの構成をつかめるようになること。</li> </ul>
	11	⑦ LANDMARK Lesson6 『Jose Mujica: The World's Poorest President』		<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文を読み解く上で正しく因果関係をみつけることや、複数の事柄がどのような意図を持って対比されているかなど読み取ることができる。</li> <li>・それぞれのパラグラフで述べられている主張やその根拠を読み取ることができる。</li> </ul>
	12	⑧ LANDMARK Lesson 7 『Where Did dogs Come from?』		<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い時間である程度の長さの英語の文章を読み、筆者の言いたいことを理解し、問題を解く上で必要な情報を見つけることができる。</li> <li>・基礎学力到達度テストに向けた実践的な演習と知識習得。</li> </ul>
<p>※到達度テスト以降は、教科書と副教材のほか、一般選抜入試レベルの長文問題を扱う授業を展開する。</p>				

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。